

文部科学省認可通信教育  
(第4種 定形外郵便)  
令和5年10月発行

放送大学滋賀学習センター

# 樹 滴

緑豊かな環境

真理のしたたり

第129号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5  
龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL.077-545-0362

FAX.077-545-2096

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

## 目 次

「東南アジア：どこから来るのか SEA Games の盛り上がり」(滋賀学習センター所長 平井 肇)・・・	1
「電池の発明－カエルの痙攣から水の電気分解へ」(滋賀学習センター客員准教授 糟野 潤)・・・	2
「謝 辞」(教養学部 情報コース 堀 由美子).....	3
卒業生のことば、卒業生・入学生の状況 .....	4
セミナーのご案内 .....	5
事務室からのお知らせ .....	7



## 東南アジア：どこから来るのか SEA Games の盛り上がり

滋賀学習センター所長 平井 肇

東南アジアには、Southeast Asian Games (SEA Games、東南アジア競技大会) というスポーツの国際的な競技大会があります。1959 年にタイのバンコクで第 1 回大会が開催され、2 年毎に加盟国の持ち回りで開催されています。参加国はブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、東チモール、ベトナムの 11 カ国で、東チモール以外は ASEAN (東南アジア諸国連合) 加盟国です。

2023 年の第 32 回 SEA Games はカンボジアのプノンペンで開催され、37 競技 584 種目に 6 千人以上の選手が参加しました。私たちにもなじみのあるオリンピックの競技・種目の他にも、ビリヤードやペタンク、ジェットスキー、競技ダンスなども実施されています。この地域の伝統的な武術や球技、チェスや将棋のようなゲーム、さらには e スポーツも正式種目です。一般的に私たちが想像するスポーツの国際大会とは、少し様子が違うようですね。

SEA Games への関心は、参加国、特に開催国の人たちの間では、ある意味オリンピック以上で、ふだんはスポーツにあまり興味のないような人たちの間でも、大会期間中はひとしきり話題になるそうです。各国のメダル獲得数に関心が集まり、人気のサッカーやバドミントン、女子バレーボールなどでは、マスコミがライバル国との対戦を大きく取り上げます。大会の様子を一部 YouTube で見たのですが、開会式は華やかな演出で各国の元首が集い、サッカーの決勝戦などはたいへんな盛り上がりでした。

私はこれまでも東南アジアのスポーツ事情について、タイやマレーシア、シンガポール、フィリピンなどの研究仲間いろいろな話を聞かせてもらう機会がありました(おもにコロナ禍以前のことですが)。そのため、近年の SEA Games の盛り上がりについても、ある程度は納得がいくようになりました。

東南アジアでは古代から侵略、支配や分裂が繰り返されてきました。19 世紀以降は殆どの地域がヨーロッパ列強の植民地となり、第二次世界大戦後に独立しました。お互いのライバル心や地域や国ごとに人気スポーツが異なることなどは、このような歴史が関係していると思われます。地域の特色を活かして全体のまとまりを図りつつも、個々の種目や競技では、ライバル心を<sup>くすぐ</sup>掻くような仕組みができていたと感じました。

グローバル化や都市化、高度情報化などの社会情勢の変化も、この地域のスポーツに大きな影響を与えています。余暇に使える時間やお金が増えて、スポーツは「する」だけでなく「見る」「語る」ものとしても存在感が増してきています。そうすると、経済や政治、行政といった他の社会制度との関係は必然的に深まります。

近年、東南アジアでもスポーツのプロ化・ビジネス化は急速に進んでいます。プロスポーツの経済規模が小さくて運営面で厳しいため、中国や韓国、日本などの企業がビジネスチャンスと捉えて積極的にバックアップしています。タイでは、大学が運動選手を支援する体制が整いつつあるという話を聞きました(問題も多いようですが)。ベトナムなどは、国家が積極的に選手育成のための体制作りを進めているそうです。しかし、オリンピックや世界大会で戦えるレベルにある競技はそれほど多くはないのが現状です。そうすると、SEA Games が大いに盛り上がるのも納得がいきます。

SEA Games が、この地域のスポーツの普及に貢献しているのは紛れもない事実です。また、この大会を通して人々がスポーツを純粋に楽しみ、この大会が自分の住む地域や国に一体感を持つ契機になっていることは評価されるべきです。しかし、SEA Games に限りませんが、このようなスポーツ・イベントが、国威発揚や政治体制の維持のために利用される危険が常にあることを忘れてはなりません。今回のカンボジアでの開催に際しても、インフラ整備面での外国資本への過度な依存も指摘されています。

次の SEA Games は、2025 年にタイで開催されます。実際に観戦したことがないので、現地でその盛り上がりを体感してみたいと思っています。

---

1 1975 年の大会までは South East Asian Peninsular Games (SEAP Games、東南アジア半島競技大会) と呼ばれていました。

## 「電池の発明－カエルの痙攣から水の電気分解へ」

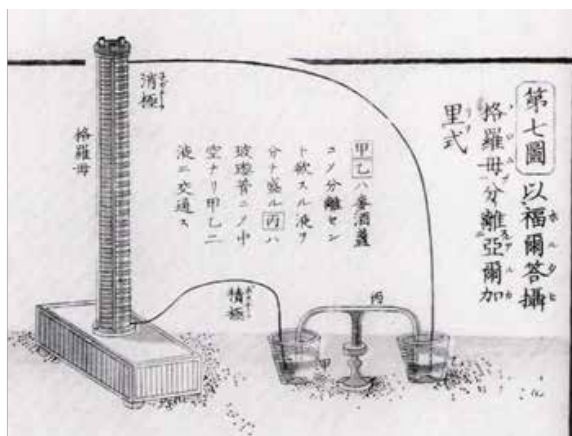
滋賀学習センター客員准教授 糟野 潤

いまや電池は私たちの日常生活において欠かせないものとなっている。リモコン、時計、懐中電灯、体温計、おもちゃ、パソコン、スマートフォンなど、様々な用途に用いられている。最も広く用いられているのは「化学電池」であり、使い切りの「一次電池」や充電が可能な「二次電池」に大きく分類される。さらに、形状や大きさなどで細かく分類すると、約 4,000 種類もの電池が使用されている。もし電池がなかったら、私たちは生活できないといっても過言ではない。電池誕生のきっかけとなった生き物であるカエルに感謝である。

ガルバーニ (Luigi Galvani, 1737～1798) は、ボローニア大学で解剖学を中心に筋肉の収縮運動に関する研究を行っていた。当時は静電気が病気の治療に使えるのでは、と考えられており、電気ショックによって筋肉が収縮することが知られていた。あるとき、ガルバーニは、解剖したカエルを真鍮のフックを用いて鉄製の柵につると、カエルの足が痙攣することを見つけた。さらに、ガルバーニはカエルの脊髄に繋がれた真鍮を鉄板に接触させても、同様の現象が起こることを発見した。ガルバーニはこれらの実験結果から、生物を動かすのは電気力であることを証明し、この電気のことを「動物電気」と名付けた。実はこのとき、カエルの脊髄神経につないだ真鍮が正極、鉄板が負極、カエル自身が電解液となる電池ができており、放電によって流れた電流がカエルの足を刺激して痙攣が生じていたのである。

ガルバーニの「動物電気説」に疑問を抱いたのが、イタリアの物理学者であるボルタ (Alessandro Volta, 1745～1827) である。ボルタは、電気が発生したのはカエルの足の筋肉ではなく二種類の金属が接触したことが原因であるという仮説を立てた。この仮説を立てるにあたって、ボルタはズルツァー (Johann George Sulzer, 1720～1779) による味覚実験からヒントを得たとされている。ズルツァーは、舌を二種類の金属で挟むと、強い刺激的な味がすることを発見した。ここでも、二種類の金属と電解質が関与している。この味覚実験と動物電気説から、ボルタは二種類の金属とカエルの筋肉や人間の舌に相当する物の三点セットを組み合わせれば、電気が取り出せると考えた。そして、二種類の金属 (銅と亜鉛) と食塩水をしみ込ませた布をはさんだ装置を組み立てて、電気を取り出すことに成功した。この装置は「ボルタの電堆」と呼ばれている。日本では、蘭学者である宇田川榕菴が「舎密開宗」という著書に、ボルタの電堆について図を用いて解説した。

ボルタの研究成果を聞いたカーライル (Anthony Carlisle, 1768～1840) は自分でボルタの電堆を作製し、ニコルソン (William Nicholson, 1753～1815) と共にボルタの電堆を用いて水を電気分解し、水素と酸素を得た。これは、流れる電流によって化学変化が生じることを示した初めての実験である。デービー (Humphry Davy, 1778～1829) はこの電気分解に注目し、融解した水酸化カリウムを電気分解して、新しい元素であるカリウム K を単離することに成功した。さらに、デービーはマグネシウム Mg やカルシウム Ca など次々と新しい元素を電気分解によって発見した。このように、ボルタの電堆は化学の発見に大いに貢献した。ボルタが史上初めて化学反応によって電気というエネルギーを得たことは、世紀の大発見であったといえる。



ボルタの電堆 (中部電力「でんきの科学館」HP より) 「舎密開宗」に記載されているボルタの電堆 (Wikipedia より)

## 謝 辞

教養学部 情報コース  
卒業生代表 堀 由美子

9月になり長い酷暑の季節が過ぎ秋風の吹く本日、私達は放送大学を卒業することとなりました。この佳き日に卒業証書・学位記授与式を挙げて頂き、卒業生を代表しまして心からお礼を申し上げます。本当に有難うございます。卒業生を代表して、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

入学しました21年前は何事にも一生懸命な先輩や同級生がたくさんおられ、楽しい雰囲気があふれておりました。サークルもあちこち訪問して楽しかった思い出が満載です。3度目の入学を果たした途端に事故に会い、手足の手術をして3カ月の入院後リハビリに励みながらの学生生活は大変でした。その後に母が脳梗塞を患い87日の入院後、在宅介護の始まりとなりました。それからは、介護とフルタイム勤務と自治会の役員、サークルの会長、家業などといった何足もの草鞋を履いて睡眠時間2～3時間の生活を送っておりました。4度目の入学後は車椅子の母と石川・岐阜・福井・長崎へと面接授業に出向いて楽しかったことが脳裏に刻まれております。試験の時も母を連れて行き、学生控室で待たせて30分間全力投入で受験していたことも今では良い思い出です。そんな余裕のない生活でしたから試験勉強もはかどることもなく、「貴女のテキストは角で手を切るほど綺麗だね」と言われることも度々でした。まず試験勉強と言えば当日の試験が始まる前の1時間ほどでテキストを200ページほど真剣に読み込むといった状況でした。それでも何とか卒業をした4度目の卒業式には母同伴で参列させて頂きました。コロナ禍で迎えた5度目の卒業、そしてその後も母の温かい応援や友人の励ましにて、今回6度目の卒業をし、名誉学生となりましたこと私の財産となりましたし、10年間介護をやり切った自分を誇りに思います。

残りの人生は放送大学で学んだこと、体験したことを心に刻みゆっくり楽しく歩んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、ご指導賜りました諸先生方、ご支援いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、放送大学の学びの進化と滋賀学習センターの益々のご発展、皆様のご健勝を祈念致しまして、謝辞といたします。

末尾にはなりますが、入学当初センターの所長をしておられ大変お世話になりました、板坂 修 様が本年4月に天寿を全うされました。

ここにご冥福をお祈りいたします。有難うございました。



## 令和5年度 第1学期 卒業生のことば



2023年度第1学期に卒業される皆さんからメッセージをいただきました。

### 「卒業によせて」

社会と産業コース 飯田 香澄  
2年次編入をして、9年半。本日ようやく卒業を迎える事ができ、本当に嬉しく思います。家事・育児・仕事、そして子供達の受験や進学、留学のサポートをしながらも何度も休学を繰り返しながらも諦めずに最後まで頑張る学習できた事を誇りに今後の人生を歩んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

### 「卒業に寄せて」

社会と産業コース 鶴飼 広行  
今回は再入学ですので、1つの科目にじっくり時間をかけることができたはずなのですが、それでも試験前のバタバタ感と同じでした。それでもレジュメの内容は少しずつ充実してきましたので、この調子で次の再入学でも、単位を取ることで内容を把握することの方に重点を置いて取り組むつもりです。

### 「卒業をむかえて」

心理と教育コース 川瀬 美代子  
心理学に興味を持ち、仕事にも役立つのではないかと入学しました。心理学の奥深さや難しさを知り、時に楽しく、時に苦勞しながら学習を続けました。課題や試験があることは学習のモチベーションを保つことができました。最後までやりとげ、卒業できることは幸せです。

### 「卒業に寄せて」

心理と教育コース 田中 絵里  
念願であった学士の学位取得を叶えることが出来、大変嬉しく思います。広く門戸を開き、働きながらも学ぶことの出来る場を与えて下さった放送大学に心より感謝申し上げます。引き続き科目履修生として再入学し面接授業の単位を補い、認定心理士資格取得を目指します。

### 「グランドスラム達成」

自然と環境コース 田辺 和代  
一度目の入学当初は視聴室でのビデオ再生やDVD貸出で勉強していましたが、自宅でのインターネット学習に変化していき歴史を感じています。気になる科目を履修していたのが、積み重ねて全コース制覇となりました。学ぶことが本当に楽しかったです。

### 「卒業によせて」

心理と教育コース 中村 華子  
高校卒業時に叶わなかった大学進学でしたが30年後に夢がかないわくわくする思いで学ぶことができました。特に面接授業は楽しかったです。計画通り4年で卒業を迎えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。

### 生活と福祉コース 府中谷 悠希

入学当初は、仕事との両立で卒業できるか不安もあった。しかし授業を受けていると、学ぶことが楽しいと何度も感じることもあり、無事卒業まで辿り着くことができた。ありがとうございました。

### 「全コース制覇で名誉学生に」

### 情報コース 堀 由美子

21年かかり、やっとコンプリート出来ました。思い起こせば3度目の入学を果たした一月後に事故で3カ月の入院手術、リハビリ後に復帰したのも束の間、母が脳梗塞で倒れました。そして母と二人三脚での在宅介護が始まりました。それからは介護とフルタイムの勤務、家業や自治会の役員そしてサークルの会長など沢山の草鞋を履きながらも楽しい介護生活10年でしたが、この度両親の夢とともにすべてを終了することが出来、感慨深いものがあります。有難うございました。

### 「学び、卒業する事の大切さ」

### 自然と環境コース 匿名

私は、宇宙に関する事に興味があったので、自然と環境コースを希望しました。加えて学士の資格を取得する為に諦めず、単位を全てとる事に専念しました。講義の内容は大変面白く楽しく、学ぶ事の楽しさと知識を身につけ考察する事の大切さを学びました。

### 「卒業に寄せて」

### 人間と文化コース 匿名

上級免許取得のため、偶然出会った放送大学。その魅力に取りつかれ、夢であった大学卒業をめざすことにしました。短大卒業後、仕事と子育てに追われた日々を経て大好きな歴史を学べたことは、この上ない喜びでした。今後も列コースで学びを継続する予定です。

## 令和5年度 第1学期 卒業生、第2学期 入学者の状況

今年度、第1学期は15名の方が放送大学を卒業されました。また、第2学期に滋賀学習センターへ入学された方は、9月末現在で120名になりました。

年代別にみると、29才以下=32人、30代=13人、40代=32人、50代=24人、60才以上=19人となりました。

ちなみに、入学者の最高齢は86才で、平均年齢は43才でした。職種別では人数の多い順に、教員(29名)、会社員等(18名)、公務員・団体職員等(14名)、看護師等(10名)、パートタイマー(7名)などとなりました。

### 令和5年度第1学期卒業生 <教養学部>

生活と福祉コース	3名
社会と産業コース	2名
自然と環境コース	2名
心理と教育コース	4名
人間と文化コース	1名
情報コース	3名
合計	15名

## セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターウェブサイト及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



### 【スポーツ文化論セミナー】世界のスポーツと身体文化

平井 肇 所長

現代社会におけるスポーツの社会・文化的な意義と役割について、比較文化論と地域研究の視点から分析・考察します。スポーツ好きがスポーツについて気軽に語り合う場です。

10月29日(日)10:15～11:45    11月19日(日)10:15～11:45  
12月17日(日)10:15～11:45    1月28日(日)10:15～11:45



### 【保健学セミナー】公的統計から読み解く健康のすがた

伊藤 美樹子 先生

保健医療・福祉に関する統計データの経年変化や地域間比較から、現代人の健康のすがたや地域としての健康課題を参加者の皆さんと一緒に読み解きながら考えたいと思います。

10月27日(金)10:15～11:45    11月10日(金)10:15～11:45  
12月15日(金)10:15～11:45    1月12日(金)10:15～11:45



### 【基礎化学セミナー】生活の中の化学

糟野 潤 先生

身近な生活の中に化学は深く関わっています。化学の基本である「元素の周期表」が完成する前から、化学の研究は盛んに行われてきました。演示実験にいくつか取り組んで、化学の世界を楽しんでください。

10月13日(金)10:15～11:45    11月24日(金)10:15～11:45  
12月22日(金)10:15～11:45



### 【社会デザイン研究セミナー】21世紀社会デザインの展開

川中 大輔 先生

現代社会をどのように変革していくことが求められているのか。本セミナーではこの問いに対して、社会的排除やジェンダー不平等などの具体的な社会問題を取り上げながら、目指す方向／方法を検討していきたい。

10月10日(火)15:15～16:45    11月 7日(火)15:15～16:45  
12月 5日(火)15:15～16:45    1月 5日(金)13:30～15:00


**【栄華物語を読むセミナー】女性の視点からみた平安時代**

京樂 真帆子 先生

『栄華物語』は、平安時代約 200 年間の貴族社会の様子を、仮名を使って物語風に描いた歴史物語です。前半部分は、赤染衛門が執筆したと言われています。その物語を歴史学研究の立場から輪読していきましょう。

10月 4日(水)10:15~11:45    11月 1日(水)10:15~11:45  
12月 6日(水)10:15~11:45


**【欧米経済史セミナー】現代経済システムの起源を探る**

三ツ石 郁夫 先生

現代資本主義に特徴的な資産の運用や商品生産のあり方は、世界史的にみれば中世から近代のヨーロッパに起源を求めることができます。なぜ他ならぬヨーロッパで生成したのでしょうか。講義と討論を交えて考えます。

10月 3日(火)13:30~15:00    11月14日(火)13:30~15:00  
12月 5日(火)13:30~15:00    12月19日(火)13:30~15:00  
1月 9日(火)13:30~15:00

**【オンライン(Zoom)セミナー】**

**【心理療法の基本セミナー】心理療法を俯瞰する**

荻田 純久 先生

心理療法に関しては、過去においても現在においてもさまざまな立場、理論、技法などが存在します。心理療法の未来はどうなるのでしょうか。本セミナーでは、心理療法の基本について考えていきたいと思います。

10月28日(土)13:30~15:00    11月18日(土)13:30~15:00  
12月16日(土)13:30~15:00


 zoom  
Online

 は **Zoom** によるオンライン開講です。以下のいずれかの方法で参加できます。

- ①ご自宅でPCやタブレットからZoomに接続する
- ②パソコンが苦手な方やご自宅にインターネット環境がない方：滋賀学習センターで受講する  
(事前に申し込みが必要です。定員は4名です。)

※詳しくは放送大学滋賀学習センターウェブサイトをご覧ください。

## 事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

### 第 2 学期の窓口での手続きについて

#### ■学生証の発行

- \* 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。大学本部での登録完了の後、学習センターで発行することになります。
- \* **学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。**
- \* 有効期限を経過したり退学等により学籍を失ったりした場合は、学習センターに返還してください。
- \* 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：18 頁～19 頁、修士：24 頁～26 頁、博士：27 頁～28 頁を参照ください。

#### ■入構許可証の発行

- \* 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- \* 「利用の手引き」巻末にある「入構許可申請書」に必要事項をご記入いただき、窓口にご持参ください。即時「入構許可証」を発行します。
- \* **2024 年 3 月 31 日まで有効です。**

### 学割証の発行について

全科履修生・修士全科生・博士全科生のみ利用できます。(選科履修生ならびに科目履修生は対象外です。)

- ①自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。
  - \* JR 西日本(2 割引)瀬田まで購入可
  - \* 京阪電車(2 割引)京阪山科・京阪大津京・京阪膳所・京阪石山まで購入可
  - \* 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
  - \* 学割証の有効期限は、発行日から 1 ヶ月です。
- ②自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため、大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道 100 km を超える場合のみ)  
<科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。>
  - \* JR(2 割引) 例：瀬田→(米原経由)→海浜幕張
  - \* 有効期限は、面接授業等の初日の 10 日前から終了日の 5 日後です。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：122 頁～124 頁、修士・博士：115 頁～116 頁を参照ください。

### 面接授業の追加登録について

- 空席発表：10 月 14 日(土)12:00
- 追加登録期間：【10 月～1 月開講の授業】 10 月 19 日(木)～科目ごとに定められた受付期日まで
- 対象者：令和 5 年度第 2 学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生
- 追加登録方法：登録期間中、先着順で受け付けます。
  - \* 詳しくは、「2023 年度第 2 学期 面接授業開設科目一覧」の 9 頁～15 頁を参照ください。
  - \* 空席数については、システム WAKABA、または滋賀学習センター掲示板をご覧ください。電話による問い合わせもできます。
  - \* 10 月 19 日(木)15:00 以降は、システム WAKABA で空席状況をリアルタイムで確認することができます。(空席状況は、検索された時点のものです。追加登録を申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので、予めご了承ください。)



## 通信指導の提出と添削結果返送時期について

通信指導とは、放送（DVD 等の視聴によるものを含む）及び印刷教材により行われる授業において、一定の範囲で問題が出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。この通信指導を提出しなかった場合、または評価の結果が不合格となった場合には単位認定試験の受験資格は得られません。

提出については、一部の科目を除き、「Web 通信指導」が利用できます。「Web 通信指導」で提出（送信）を行った場合は、郵送による提出は不要です。対象科目、受講方法等の詳細については、システム WAKABA「学内リンク」にある「Web通信指導」をご覧ください。

<提出期限> 郵送：2023年11月15日(水)～11月29日(水)《必着》

Web：2023年11月8日(水)10:00～11月29日(水)17:00

※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕を持って提出(送信)してください。

<添削結果返送時期> 2023年12月末～2024年1月上旬

※(択一式)1月5日、(記述式)1月12日までに届かない場合は、大学本部に連絡してください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：61頁～65頁、修士・博士：63頁～67頁を参照ください。

## 単位認定試験について

2023年度第2学期単位認定試験(2024年1月実施)については、引き続きWeb受験方式(一部科目※については郵送受験方式)にて実施します。単位認定試験実施日までに大学本部から郵送される資料には、試験中に使用が認められる物品等の重要事項が含まれますので必ず目を通してご確認ください。

### 1. 実施方法概要

#### ◎ Web 受験方式

- 自宅等から、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
  - ◆ 択一式問題 → 選択肢をクリックすることで解答します。
  - ◆ 記述式問題 → 解答記入欄に文字入力することで解答します。

#### ◎ 郵送受験方式

- ※「正多面体と素数('21)」(記述式)、「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式)、「量子化学('19)」(併用式)のみ
- 1月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- 試験時間の制限は行いません。

### 2. 試験日程

Web 受験方式(試験期間)：2024年1月16日(火)9:00～1月24日(水)17:00

郵送受験方式(提出期間)：2024年1月16日(火)～1月24日(水)《必着》

### 3. Web 単位認定試験体験版について(試験期間前)

Web 単位認定試験システムの体験版を公開しています。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間までに、必ず体験版を操作しておいてください。

#### ◆ 単位認定試験体験版 アクセス方法

- ①システム WAKABA にログイン ID・パスワードを入力してログインします。※注
- ②システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

※注 初回ログイン時の ID・パスワードは、入学許可書(圧着はがき)に記載されています。初回ログインの時は必ずパスワード変更を行ってください。初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は、学習センターまでご連絡ください。

#### 4. 自宅等での Web 受験が困難な方へ【要申請】

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により Web 受験が困難な方は、事前に申請を行うことで、単位認定試験を学習センターで受験することができます。ただし、「Web 受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下のことにご注意ください。

- ◆学習センターで受験する場合「授業科目案内」及びシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験いただく必要があります。※「郵送受験方式」の科目については、パソコンは使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。
- ◆「試験問題の閲覧」と「択一式の解答」は、学習センターのパソコンでご自身で行っていただきます。(記述式の解答のみ解答用紙で行います。)

#### ■学習センター受験申請方法

学習センター等での単位認定試験受験を希望する方は、下記申請様式にご記入の上、申請期間内に下記宛先に郵送により申請してください。

- ・申請様式 学習センター受験申請書(印刷教材等に同封します※)  
※印刷教材の発送がない方の場合「番組ガイド」等に同封します。
- ・申請期間 2023年10月1日(日)～11月24日(金)《必着》
- ・申請宛先 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

#### ■Web 単位認定試験の操作体験会について

2023年12月上旬～2024年1月上旬にかけ、各学習センターで、Web 単位認定試験体験版を用いた操作体験会を開催します。学習センターで受験する場合でも、「試験問題の閲覧」「択一式の解答」に関するパソコン操作はご自身で行っていただきますので、受験予定の学習センターで開催される操作体験会に原則ご参加いただきますようお願いいたします。(前学期に参加済みの方も、操作等が不安な場合ご参加ください。)

学習センターごとの実施日時等詳細は、「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対し、本部より随時ご案内を送付いたします。

#### ■図書・再視聴室の利用について

■利用内容： ○図書資料の閲覧 ○印刷教材の閲覧 ○放送教材の視聴

■利用時間： ○通常 9:15～17:45  
○単位認定試験期間 9:00～18:45

■図書の閲覧： 図書資料は、書架により自由に取り出して閲覧できます。

#### ■図書の貸出・返却

2019年4月から学習センターの図書貸出しは行っていません。貸出を希望する場合は、大学本部の附属図書館をご利用ください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部(106頁)大学院(100頁)

もしくは附属図書館のホームページ (<https://lib.ouj.ac.jp/>) でご確認ください。

※学習センター閉所日や開所時間外での大学本部の附属図書館の図書資料の返却は、4号館1階玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。

#### ■閉所日

- \*毎週月曜日・祝日
- \*年末年始 2023年12月29日(金)～2024年1月3日(水)
- \*臨時閉所日 2023年12月28日(木)、2024年1月4日(木)

図書室を活用しましょう!



#### ■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学习上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用するには投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、図書・再視聴室内にメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

## 放送教材 (DVD/CD) の室内視聴と放送教材の貸出について

放送教材は、室内視聴が可能です。(登録科目以外の放送教材も視聴できます。) 2020 年度以降 (大学院は 2019 年度以降) の新規開設科目につきましては、放送教材 (DVD/CD) の配架は行いません。配架中の放送教材は閉講になるまで視聴できます。インターネット視聴端末では全科目の視聴ができます。

※放送教材の貸出は、現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

※詳しくは「学生生活の葉」学部：32 頁～ 35 頁、大学院：44 頁～ 47 頁、「利用の手引き」11 頁～ 12 頁を熟読してください。

## インターネット配信について

放送授業 (テレビ科目、ラジオ科目) は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからない Wi-Fi 環境等での視聴を推奨します。ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ) もご利用いただけます。詳しくは、<https://radiko.jp> をご覧ください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：31 頁～ 32 頁、修士・博士：43 頁を参照ください。

## 滋賀学習センターにおける無線 LAN の利用申請について

2018 年度からセンター内で、個人の持込 PC・スマートフォン・タブレット端末による無線 LAN 接続が可能となりました。無線 LAN の利用を希望される方は、必ずご本人が滋賀学習センター事務室へご来所のうえ、申請手続きを行ってください。申請用紙は滋賀学習センターのウェブサイトよりダウンロードするか、直接窓口に来てください。

※本学が指定する e-ラーニングのサイバーセキュリティ研修 (システム WAKABA 内右側メニュー「放送大学自己学習サイト」の「情報セキュリティ研修 (学生用)」を受講し、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線 LAN 利用申請書」を滋賀学習センターの窓口へご提出ください。「修了証」の提示が無い場合は、申請を受付できません。

※詳しくは「学生生活の葉」学部：112 頁～ 113 頁、大学院：106 頁～ 107 頁を参照してください。

## 学習相談会について

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は・・・

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、セミナー終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時等を調整後、ご連絡いたします。

※所長への学習相談は、随時受け付けていますので、お気軽に窓口までお申し出ください。

## 11月5日(日) 文化祭および公開講演会の開催について

学友会主催の文化祭および文化祭講演会を下記のように開催します。

日時：2023 年 11 月 5 日 (日) 第 1 部 10:15～ / 第 2 部 13:00～

会場：龍谷大学瀬田キャンパス 4 号館 本会場：107 教室

演題：第 1 部「都とその周辺を支えた古代近江の生産のダイナミズム」—既成概念は歴史認識を誤る—  
第 2 部「徳川家康と近江」

講師：第 1 部 高田満彦 (元龍谷大学社会学部教授) 第 2 部 太田浩司 (元長浜城歴史博物館館長)

定員：100 名

今回は、滋賀学習センター 2023 年度公開講演会とタイアップしています。学友会、学生の皆さんよろしくお祈いします。

## スケジュール



10 月			11 月			12 月		
日 曜	内 容	日 曜	内 容	日 曜	内 容			
1 日	第2学期放送授業開始(~1/20) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(~10/20)	1 水	2023年度卒業研究報告書提出期限 【セ】京楽 10:15	1 金				
2 月	閉所日	2 木		2 土	第4回公開講演会 面接授業			
3 火	【セ】三ツ石 13:30	3 金	閉所日(文化の日)	3 日	面接授業			
4 水	【セ】京楽 10:15	4 土	2024年度大学院博士全科生入学者第二次選考 (面接試験)	4 月	閉所日			
5 木	第2学期オンライン授業開始(~2/29まで閲覧可能)	5 日	第3回公開講演会 学友会(かいつぶり)文化祭	5 火	【セ】三ツ石 13:30 【セ】川中 15:15			
6 金	集中科目履修生(司書教諭)単位認定試験課題提出期限	6 月	閉所日	6 水	【セ】京楽 10:15			
7 土		7 火	【セ】川中 15:15	7 木				
8 日		8 水	第2学期通信指導提出期間 【Web】(~11/29)	8 金				
9 月	閉所日(スポーツの日)	9 木		9 土	面接授業			
10 火	【セ】川中 15:15	10 金	【セ】伊藤 10:15	10 日	面接授業			
11 水		11 土	面接授業 2024年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試験)	11 月	閉所日			
12 木		12 日	面接授業 2024年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試験)	12 火				
13 金	【セ】糟野 10:15	13 月	閉所日	13 水				
14 土	面接授業 第2学期面接授業空席発表	14 火	【セ】三ツ石 13:30	14 木				
15 日	面接授業	15 水	第2学期通信指導提出期間 【郵送】(~11/29)	15 金	【セ】伊藤 10:15			
16 月	閉所日	16 木		16 土	面接授業 【セ】荻田 13:30(オンライン) <span>zoom Online</span>			
17 火		17 金		17 日	面接授業 【セ】平井 10:15			
18 水		18 土	面接授業 【セ】荻田 13:30(オンライン) <span>zoom Online</span>	18 月	閉所日			
19 木	第2学期面接授業追加登録開始 (科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで)	19 日	面接授業 【セ】平井 10:15	19 火	【セ】三ツ石 13:30			
20 金	滋賀大学附属図書館利用申請締切	20 月	閉所日	20 水				
21 土	面接授業	21 火		21 木				
22 日	面接授業	22 水		22 金	2024年度大学院博士全科生・修士全科生入学者第二次 選考合格通知 【セ】糟野 10:15			
23 月	閉所日	23 木	閉所日(勤労感謝の日)	23 土	冬季公開講演会 面接授業			
24 火		24 金	【セ】糟野 10:15	24 日	面接授業			
25 水		25 土	面接授業	25 月	閉所日			
26 木		26 日	面接授業	26 火				
27 金	2024年度大学院博士全科生・修士全科生入学者 第一次選考可否通知 【セ】伊藤 10:15	27 月	閉所日	27 水				
28 土	面接授業 【セ】荻田 13:30 <span>zoom Online</span>	28 火		28 木	臨時閉所日(冬季)			
29 日	面接授業 【セ】平井 10:15	29 水	第2学期通信指導提出期限【Web、郵送】	29 金	閉所日 年末閉所日(~12/31)			
30 月	閉所日	30 木		30 土	閉所日			
31 火				31 日	閉所日			